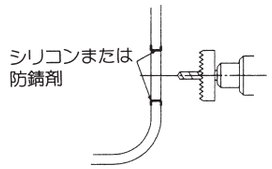
③　浴槽の外側から、ホールソーで貫通穴をあけてください。

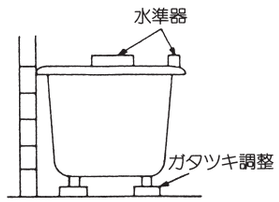
④　切り口にシリコンまたは防錆剤を塗ってください。



3)　浴槽の据付け

①　浴槽のフチ部上面に水準器をのせて水平に据付けてください。

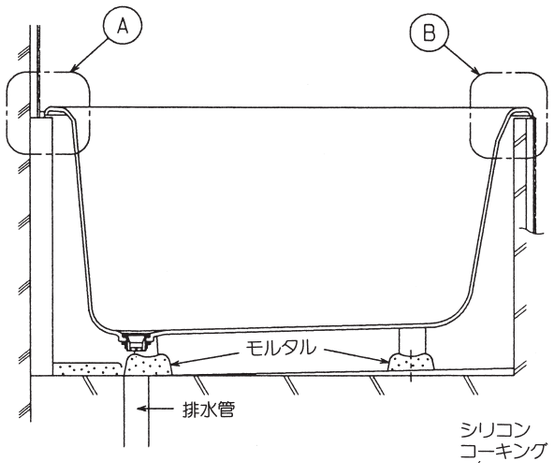
②　ガタツキがある場合は、脚部と床面との間に鉄板などのライナーをはめて調整してください。

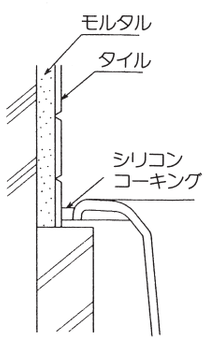


⚠注意　浴槽据付時、絶対にエプロンを持たないでください。

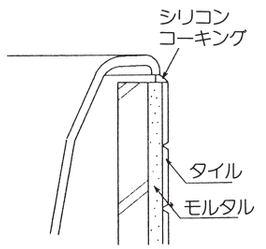
4)　据付け部の仕上げ

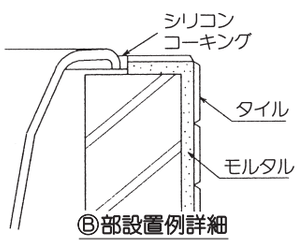
①　エプロン無し仕様





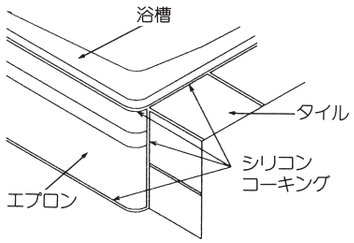
Ⓐ部設置例詳細



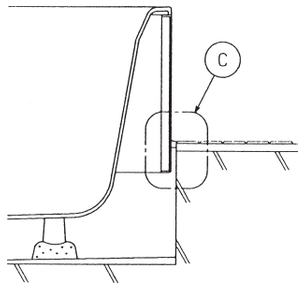


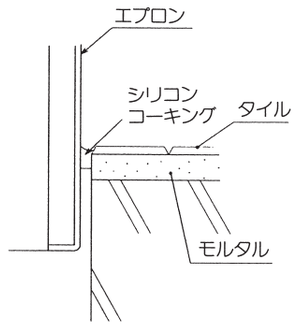
Ⓑ部設置例詳細

②　エプロン有り仕様



エプロン付きの設置例





Ⓒ部設置例詳細

タカラスタンダード株式会社
本社　大阪市城東区鳴野東1丁目2－1　TEL　06(6962)1531(大代表)

タカラ鋳物ホーロー浴槽
設置説明書

作業される方へのお願い

◇取付け作業の前に、この「設置説明書」と浴槽本体に同梱の「設置説明書(安全編)」をよくお読みになって指定された作業を行ってください。
◇作業終了後、お客様に「取扱説明書」、「設置説明書」をお渡しください。

1．品　番

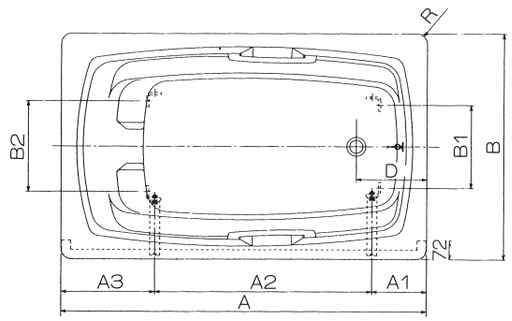
1)　浴　槽

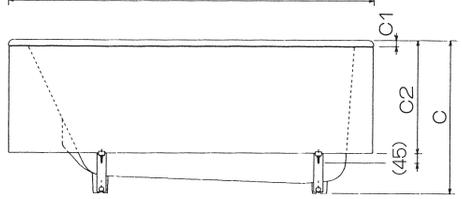
●FUH－160N□
　　色
浴槽間口：160cm
　　140cm
　　130cm
　　120cm
　　110cm
　　100cm

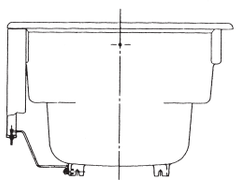
2)　エプロン(別売)

●エプロン　FUHN　160□
　　色
浴槽間口：160cm
　　140cm
　　130cm
　　120cm
　　110cm
　　100cm

2．寸法図



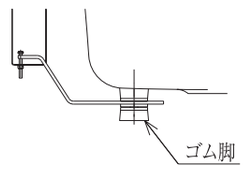




●図はFUH-140Nを示します。

●寸法A1、A2、A3、B1、B2は脚位置を示します。

FUH-160Nは、脚の形状が異なります。(下図参照)



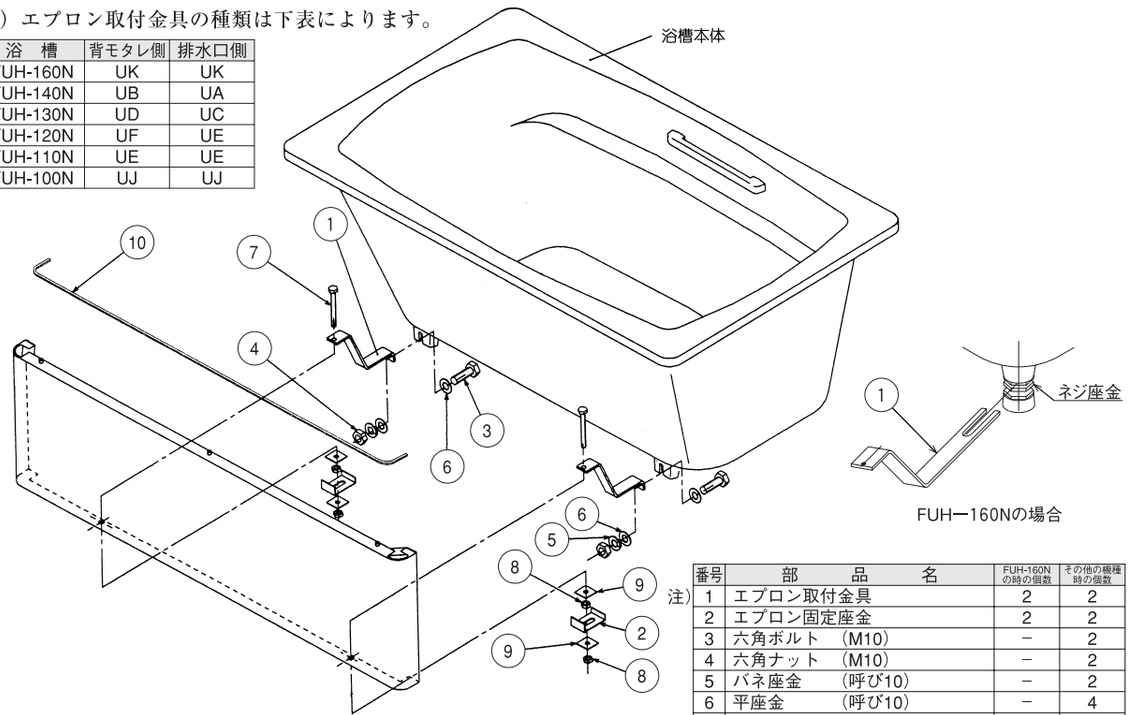
	A	A1	A2	A3	B	B1	B2	C	C1	C2	R	D
FUH-160N	1600	247	918	435	800	300	300	540	20	427	20	300
FUH-140N	1400	210	830	360	860	316	346	582	23	430	40	270
FUH-130N	1300	185	780	335	860	316	346	603	25	432	40	225
FUH-120N	1200	205	725	270	780	346	286	605	20	427	25	270
FUH-110N	1095	182	640	273	750	316	316	592	18	425	25	215
FUH-100N	1000	155	690	155	710	400	400	630	20	427	25	210

3．エプロン（別売）の同梱部品

エプロン取付け時、使用する部品の確認を行ってください。

注）エプロン取付金具の種類は下表によります。

浴　槽	背モタレ側	排水口側
FUH-160N	UK	UK
FUH-140N	UB	UA
FUH-130N	UD	UC
FUH-120N	UF	UE
FUH-110N	UE	UE
FUH-100N	UJ	UJ



FUH−160Nの場合

注）

番号	部　品　名	FUH-160Nの時の個数	その他の機種時の個数
1	エプロン取付金具	2	2
2	エプロン固定座金	2	2
3	六角ボルト　(M10)	−	2
4	六角ナット　(M10)	−	2
5	バネ座金　(呼び10)	−	2
6	平座金　(呼び10)	−	4
7	六角ボルト　(M6)	2	2
8	六角ナット　(M6)	4	4
9	平座金　(大形角(呼び6))	4	4
10	緩衝パッキン	1	1
−	シリコン	1	1

4．エプロン組付け要領（エプロン付の場合）

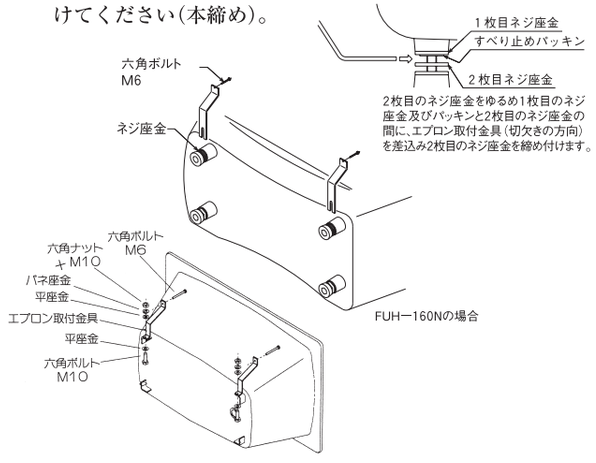
①浴槽を横に置いてください。

注意

浴槽を横に置く時、段ボール、木材等を下に敷いて置いてください。

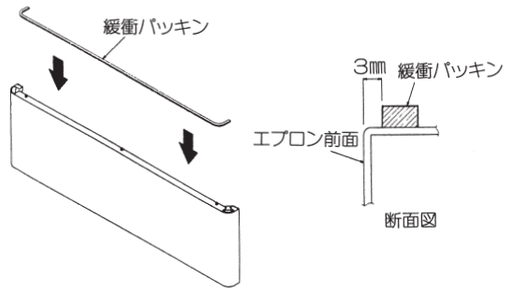
②エプロン取付金具を浴槽脚に仮止めしてください。
（エプロン取付金具の種類は3項の表を参照してください。）

③エプロン取付金具にエプロン取付用ボルト（M6）を取付けてください(本締め)。

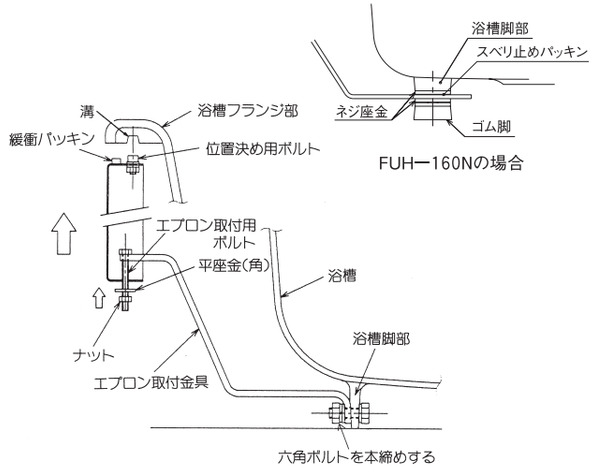


FUH−160Nの場合

④エプロン上部に緩衝パッキンを貼付けてください。



⑤エプロン下部の穴をエプロン取付用ボルトに差し込み、エプロン上部の位置決め用ボルトを浴槽フランジの溝にセットして、エプロンの左右のずれを調整しながらエプロン下部よりナットでエプロンを仮止めしてください。この時、②で仮止めした浴槽脚部のボルト（ネジ座金）を本締めしてください。

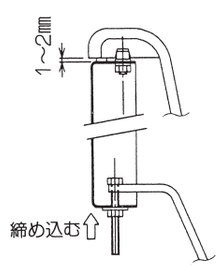


FUH−160Nの場合

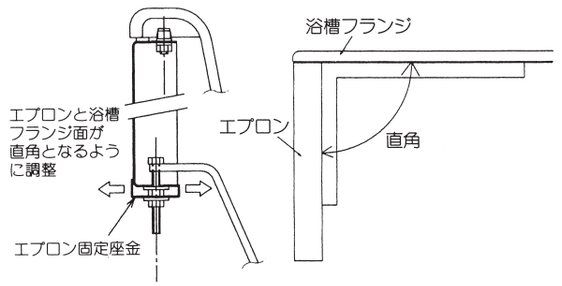
⑥エプロン下部のナットを、浴槽フランジとエプロンのすきま（緩衝パッキン）が1～2mmになるまで締め込んでください。

注意

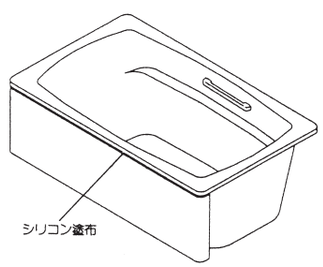
ナットは締め過ぎないようにしてください。

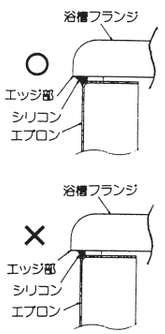


⑦エプロンと浴槽の直角度を調整して、エプロン固定座金でエプロンの前後方向を固定してください。



⑧浴槽を設置後、浴槽フランジとエプロンの合わせ目にシリコンを塗布してください。





注意

シリコンは浴槽フランジの裏をエッジ部までおおうように塗布してください。

5．浴槽据付け要領

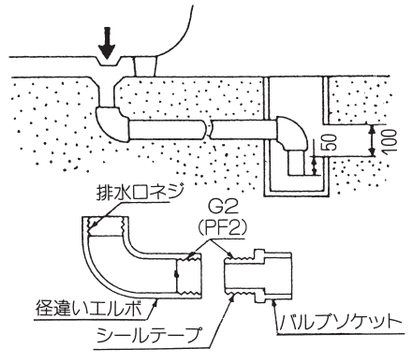
1）　浴室の下地作り

① 浴槽設置の下地作りは必ず基礎工事を行い、排水をよくするために、勾配をつけながら床作りをしてください。

② 排水溝の設置

・浴槽の床面、浴槽の排水口下に排水穴を設けてください。また、下水ガスが浴室内に逆流しない様に排水トラップを設けてください。

・床面に直接排水しない場合は排水金具にシールテープを巻いて径違いエルボ、バルブソケットをねじ込んで配管してください。



排水口ネジ　FUH-160N、140N、130N、120N:G1½(PF1½)
FUH-110N、100N:G1(PF1)

③ 基礎工事の上に脚部寸法に合せてレンガなどを置き、脚台を作ってください。（脚台は100mm角、高さ50mmとしてください）
脚台の位置は2項の寸法図を参照してください。

2）　穴あけ作業（追焚き金具用）

注意

R部分にかかる位置に穴あけしないでください。

穴あけには超硬ホールソーを使用してください。

① 穴センターをけがき、ドリルで浴槽の外側からホールソーのガイド穴をあけてください。

② 浴槽の内側から超硬ホールソー（φ50mm）で、ホーロー層を完全に越えて鋳鉄部分に少しかかるまで切り込んでください。